

関高ニュースレター2020 No.12

科学の甲子園に向けた合同学習会 1 事前の取り組み

令和2年8月、9月

「科学の甲子園に向けた合同学習会」に関して、2回に分けてお送りします。

「科学の甲子園」とは、科学（数学、情報、物理、化学、生物、地学）に興味関心のある生徒がグループで協働し、問題を解く能力、現象を分析する能力、実験を運営し、実験結果を適切に扱う能力などを競う大会です。

今回の学習会には、生徒は6人程のチームで参加しました。まず放課後を利用して数学・情報の筆記問題、物理、化学、生物の実験を含めた実技課題にそれぞれチームで協力して取り組み、考察を行いました。

この解答を全参加者で共有し、Web 会議システムを利用して交流会を行います。



筆記問題に取り組む様子（数学・情報）



振り子の実験を行う様子（物理）



酵母を温め発酵を促進させる様子（生物）



岩塩を既定の大きさに割る様子（化学）

参加した生徒の感想

- ・メンバーと協力して一つのことに取り組めたので良かった。わからないところも相談して解決しようにすることができた。
- ・事前の取り組みについて、数学・情報、化学はまだ習っていない範囲ではあったが、今までに習った知識を駆使して取り組むことができた。
- ・非常に思考力を必要とする問題が多く、自分の解析力のなさを思い知った。これからは日々観察し、解析力を上げていきたい。
- ・実力不足で問題を解くことはできなかったけど、学びはあった。発想力、知識、慣れのいずれもまだ私には足りていないと感じたので、経験を積みたい。
- ・自分には難しくても時間内に考えることも大変なものだったけど、考えること自体はとても楽しいし、仲間の話も聞いて、なんとなくでも理解できてくるようになるのは面白かった。実験も、工夫を考えることが難しくも面白かった。